


Zeon Chemicals L.P.、アクリルゴム生産能力を増強

2012年12月27日

日本ゼオン株式会社（社長：古河直純 東京都千代田区）の子会社であるZeon Chemicals L.P.（社長：トーマス・ゲテルフィンガー 米国ケンタッキー州）は、同社のケンタッキー工場にてアクリルゴム（HyTemp[®]）の生産能力を増強することを決定いたしました。

アクリルゴムは、主に自動車用途に使用される各種オイル周りのシール用やホース用のゴム材料として従来から使用されており、世界的な自動車生産台数の増加と長寿命化へのニーズに対応するために需要が拡大してきております。さらに、最近では低燃費化の動きに対応するために自動車エンジン内での燃焼温度の上昇、ターボチャージャーシステムの採用などが進み、これらのシステムに対応するために、耐熱性・耐油性にすぐれたアクリルゴムの需要がさらに高まっていくと予想されております。

このような世界的に拡大するアクリルゴムの需要に対応するために、ケンタッキーにあるアクリルゴム生産工場の生産能力を、2013年7月稼働を目標に、従来の1.5倍に増強させる予定です。

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室
Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)